

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134080	高齢者在宅生活支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		22,629	22,420		-209
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,239	1,146		-93
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	21,390	21,274		-116

特定財源の内訳

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しているなか、意思が尊重され自立した暮らしができるように、またその暮らしができるだけ長く継続できるよう支援していく必要がある。

事業概要

ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備 4,600千円

- 緊急通報装置設置事業(発作性疾患高齢者等への緊急通報装置貸与)

在宅高齢者生活支援 17,764千円

- 高齢者等住宅改造補助事業(住宅改造経費補助)
- 日常生活用具給付貸与事業(単身高齢者へ生活用具貸与給付)

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【ひとり暮らし高齢者緊急通報体制整備】4,600千円 令和元年度末設置台数 89台
緊急通報装置設置事業 委託先: A L S O K あんしんケアサポート株式会社
【11節】 0千円
【13節】 4,600千円

【在宅高齢者生活支援】17,764千円
軽度生活援助事業 花巻市シルバー人材センターへ業務委託
【13節】 422千円
800円×527.5時間=422,000円
実利用者数 148人
高齢者住宅改造補助事業(県補助1/2)
【19節】 2,393千円 8件分
・補助対象工事費上限65万円 介護保険住宅改修費用は補助対象工事費から20万円差引
・補助割合2/3(非課税世帯・生活保護世帯は3/3)
・補助上限30万円
高齢者福祉タクシー券給付事業 委託先: 市内16事業所
【20節】 14,893千円 1,567人分
1枚 100円×利用枚数 148,929枚=14,892,900円
助成券1枚100円、申請月以降年度末月数分を交付
日常生活用具給付貸与事業
【12節】 2千円 福祉電話撤去費用
【20節】 0千円
服薬支援装置貸与事業
【11節】 10千円 服薬支援装置アダプタ
【12節】 44千円 メンテナンス手数料

【寝たきり高齢者生活支援】56千円
寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 委託先: 株式会社星光舎
【13節】 49千円 12件
3,730円×1.08×4件=16,112円
3,730円×1.1×8件=32,824円
訪問理美容サービス事業 委託先: 岩手県理容生活衛生同業組合花巻支部
岩手県美容業生活衛生同業組合花巻支部
【13節】 7千円 13件
500円×13=6,500円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134090	高齢者介護予防対策事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		22,081	21,221		-860
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	5,100	4,800		-300
	その他	10,000	0		-10,000
	一般財源	6,981	16,421		9,440

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	平成31年度	～	平成31年度
------	-------	------	--------	---	--------

部重点施策における目標

高齢者が、地域の中で、いつまでも元気で生きがいをもち、安定した生活を送るため。

事業開始の背景・経緯

介護保険法施行前から実施されていたもの。引きこもり、心身が虚弱な高齢者に対して、生きがいづくり、身体能力の現状維持、要介護状態にならないようするため、適切な事業を実施しているもの。

事業概要

湯のまちホット交流サービス 16,411千円
60歳以上の市民からなる4人以上の団体に対し、市と契約した23の温泉施設等において入浴及び部屋での休憩を無料で提供。(26年8月～大迫のぶどうの湯を追加)
いきいきホーム事業 4,810千円
介護予防拠点施設(はつらつ長寿館)で日常生活指導、介護予防運動を提供。
開催回数130回(3月中止)

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

いきいきホーム事業の利用者からの要望では、生きがいを感じ楽しいとの声が多く寄せられる。

事業手法の詳細1

【湯のまちホット交流サービス事業】16,411千円
【目的】温泉施設等を活用した高齢者の趣味活動、交流促進の場の提供と高齢者の健康増進
1.1節 消耗品費:154千円
1.3節 委託料:16,257千円
【委託先】市内契約温泉施設等24施設
【委託料単価】600円/人(ぶどうの湯300円/人)
【内容】契約温泉施設等への入浴及び休憩を無料で提供。(平日・10時～15時内)
【利用対象者】60歳以上の市民で4人以上の団体(要件あり)

- ・利用者数 27,112人(内75歳以上高齢者 15,407人)
- 主な利用者数
- 1 東和温泉 5,455人
- 2 はなまき金矢温泉 4,306人
- 3 健考館 3,349人
- 4 ひまわり温泉 2,879人
- 5 大沢温泉 2,477人

【いきいきホーム事業】4,810千円
【目的】はつらつ長寿館を会場に介護予防事業を開催、高齢者等の介護予防を図る。
1.3節 委託料:4,810千円
【委託先】花巻農業協同組合
【委託料単価】37,000円/1回
【開催回数】130回/年
【内容】介護予防拠点施設「はつらつ長寿館」を活用した介護予防事業。趣味活動や健康チェック等のサービス提供により介護予防、閉じこもり防止を図る。
【指定管理者】花巻農業協同組合

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134100	高齢者福祉サービス提供事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		1,375	883		-492
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	1,031	662		-369
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	344	221		-123

特定財源の内訳

<p>市補助金 1「軽減額」 「(本来受領すべき利用者負担収入×10%)」の場合 補助金交付...3法人 (軽減額 - (本来受領すべき利用者負担収入×1%)) × 1/2 仁寿会、桐寿会、清智会 2「軽減額」 > 「(本来受領すべき利用者負担収入×10%)」の場合 (軽減額 - (本来受領すべき利用者負担収入×5.5%))</p>					
---	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送ることができる。

事業開始の背景・経緯

平成12年施行の介護保険法制度では、法施行前の費用徴収を上回らない措置が採られたが、これに加えて低所得者に対する減免措置について国が事業実施要綱を定めたことにより事業を開始したものである。

事業概要

介護サービス利用者支援
 介護サービス利用者の負担軽減を実施する社会福祉法人に補助
 ホームヘルプサービス利用者支援
 障がい者施策によるサービス利用者が65歳以降介護保険によるサービスに移行した場合の自己負担額の減免に対する補助

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

- 介護サービス利用者支援(社会福祉法人軽減) 883千円
 介護サービス利用者負担軽減を実施する社会福祉法人に補助
 【対象者及び軽減の程度】
 ・対象者...市民税世帯非課税であって、生計が困難であると認められる者
 ・対象となる費用...サービスの利用に係る利用者負担(食費・居住費を含む)
 ・軽減の程度...利用者負担の1/4(老齢福祉年金受給者は1/2)
- ホームヘルプサービス利用者支援 0千円 障がい者施策によるサービス
 利用者が65歳以降介護保険によるサービスに移行した場合、自己負担額の減免に対する補助
 利用実績
 平成21年度以降...対象者 0名
 ・対象者...利用者負担が生じた場合、生活保護の受給を要する者

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134110	高齢者福祉サービス基盤整備事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		54,363	41,517		-12,846
財源内訳	国費	5,294	11,152		5,858
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	49,069	30,365		-18,704

特定財源の内訳

--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~	
------	-------	------	---	--

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

第7期介護保険事業計画における施策目標「介護サービスの充実」に基づき、施設を整備する事業者に補助するものである。

事業概要

老人福祉施設建設資金借入償還金補助 30,365千円
 老人福祉施設の建設、改築時の借入償還金元利補給
 介護施設等整備事業費補助
 ・地域密着型サービス施設等整備事業
 地域密着型介護サービス施設の整備費に対する補助
 ・介護施設開設準備経費等事業
 介護サービス施設を開設するための準備経費に対する補助
 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金 5,475千円
 認知症高齢者グループホーム等における利用者等の安全確保の観点から行う防災改修等を実施

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【老人福祉施設建設資金借入償還金補助】30,365千円
 【内容】老人福祉施設の建設・改築時の借入償還金元利補給
 4施設（H30 7施設）
 特別養護老人ホームいしどりや荘 7,768,080円
 特別養護老人ホーム東和荘 1,014,621円
 特別養護老人ホーム大谷荘 15,318,386円
 特別養護老人ホームあすかの里 6,263,518円

【認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助金】5,475千円
 認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助
 非常用自家発電設備の設置
 看護小規模多機能型居宅介護「花心」 5,475,000円

事業費の表の「当該年度決算額」は、当該年度事業費と前年度繰越事業費の合計額です。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤 拓史

(単位：千円)

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	03	01	02	138540	高齢者福祉サービス基盤整備事業(繰越)

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		5,294	5,677		383
財 源 内 訳	国・県	5,294	5,677		383
	地方債				
	その他				
	一般財源				

※特定財源の内訳

国：地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金
(交付基準単価：14,740千円>対象経費5,677千円 低い方)

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

第7期介護保険事業計画における施策目標「介護サービスの充実」に基づき、施設を整備する事業者に補助するものである。

事業概要

○認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助
利用者等の安全性確保等の観点から老朽化に伴う大規模な修繕等を実施する事業に対する補助

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

介護保険のサービスについては、在宅サービスを重視しつつも、整備計画に基づき特別養護老人ホームの入所待機者の解消に努める。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業補助】 5,677千円

緊急災害時の停電に備えて、非常用自家発電設備を整備し、利用者の健康維持及び連絡手段の確保を図る。

グループホームぶどう苑・小規模多機能ホームぶんどかんど 5,677千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134120	高齢者交流活動支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		24,794	24,704		-90
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	24,794	24,704		-90

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返		期間限定	~
------	--	-------	--	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第5条に基づく事業展開。敬老会については、高齢者の長寿を祝い高齢者福祉の向上、敬老思想の高揚を図るため、各地域で開催される敬老事業の事業費を補助するもので、合併以前より各市町で取り組まれており、合併後は、社協への事業補助先を統一した経緯がある。

事業概要

ふれあいあんしん交流事業補助 2,020千円
 ・社会福祉協議会のふれあいいいきサロン事業に対する補助
 一行政区一サロンの設置を最終目標とする地域高齢者誰もが集えるサロンの起ち上げ推進、運営支援。(補助対象経費の1/2補助)

敬老会開催補助事業 22,684千円
 ・社会福祉協議会を通じ各地域で開催されている敬老会開催の経費の支援

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1

【ふれあい・あんしん交流事業】2,020千円
 【目的】高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち「気軽に参加」できる交流会を通じて地域の様々な機関団体とつながりを持ち共に支えあう地域体制づくりを構築するための一助とする。
 19節 補助金:2,020千円
 【交付先】花巻市社会福祉協議会
 【内容】ふれあいホーム事業(社協事業)
 自分の住む身近な地域で運営される誰もが参加できる地域サロンの設立と持続的な運営が行われるよう事業推進に取り組む。
 サロン設置数 R2.3末
 花巻 137
 大迫 21
 石鳥谷 55
 東和 23
 全体 236
 サロン延べ開催回数 4,815回
 サロン延べ参加者数 55,875人

【敬老会事業補助】22,684千円
 【目的】高齢者福祉、敬老思想について市民の関心と理解を深め、高齢者が生きがいある暮らしができるまちづくりをする。
 19節 補助金:20,982千円
 【交付先】花巻市社会福祉協議会
 【内容】各地区で開催される敬老会の開催補助
 75歳以上高齢者人口 17,485人×@1,200円
 8節 報償費:1,702千円
 【記念品贈呈】米寿、百寿、101歳以上長寿者に敬老会式上等で記念品を贈呈
 米寿 金杯贈呈
 百寿 誕生日祝花記念品贈呈
 百寿 敬老会記念品贈呈
 101歳以上 敬老会記念品贈呈
 その他 百寿到達者に対し、誕生日に市長メッセージ記念品と祝花贈呈

敬老会参加者数 5,467人 参加率 31.27% 敬老会開催地区 市内83か所で開催

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134130	高齢者社会参加活動支援事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		5,814	6,799		985
財源内訳	国費	0	1,000		1,000
	県費	2,801	2,689		-112
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	3,013	3,110		97

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っている。

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第13条に基づく事業補助。昭和37年老人福祉法制定以後老人クラブの結成が進み、現在は地域を基盤とした高齢者の自主組織として活動補助金を得ながら、生きがいづくりや健康づくりなどの活動のほか、清掃奉仕などの社会貢献活動など多彩な活動で、地域づくりに寄与する団体となっている。

事業概要

老人クラブ事業補助金 3,255千円
 市内単位老人クラブの事業活動への補助
 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)
 老人クラブ連合会事業補助金 2,144千円
 花巻市老人クラブ連合会事業活動への補助
 (県補助要綱に基づく補助金交付 負担割合国県1/3 市1/3)

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【高齢者社会参加活動支援事業】6,799千円
 老人クラブ活動事業補助
 19節 補助金:3,255千円
 会員数規模による定額補助 11~30人 27,600円×38
 31~50人 28,800円×44
 51~60人 32,400円×11
 61~80人 33,600円×12
 81人以上 36,000円×5
 県補助:老人クラブ活動補助 2,170千円
 老人クラブ連合会事業補助
 14節 借上げ料:175千円
 県シルバースポーツ大会時大型バス借上げ料
 19節 補助金:1,969千円
 市老連に対して、均等割分と会員割分および市高上分の補助
 160,000円(均等割)+(4,384人×50円)...A
 397,400円(H30県補助基準)×4(旧市町支部)...B
 A+B=補助額
 県補助:老人クラブ活動補助 253千円
 老人クラブ連合会特別活動事業補助
 19節 補助金:400千円
 市老連の特別活動に対する補助
 県補助:老人クラブ活動補助 266千円
 高齢者生きがい就労創出支援事業補助
 19節 補助金:0千円
 地域の多様な経験や資格・能力を持った高齢者の雇用を図り、地域社会の様々なニーズを満たすサービスを有償で提供する事業を新たに起こそうとする団体を対象に立ち上げ経費を補助する
 高齢者生きがい活動促進事業(国庫事業)
 19節 補助金:1,000千円
 目的
 企業退職高齢者等が、地域社会のなかで役割をもっていきいきと生活できるよう、有償ボランティア活動等による一定の収入を得ながら、自らの生きがいや健康づくりにつながる活動を行うとともに、介護予防や生活支援のサービス基盤ともなる活動を促進するため、当該活動を行う団体等の立ち上げ経費を補助する
 国庫補助:高齢者生きがい活動促進事業 1,000千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134140	高齢者保護措置事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		175,677	168,771		-6,906
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	28,085	28,117		32
	一般財源	147,592	140,654		-6,938

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送る。

事業開始の背景・経緯

老人福祉法第2条の基本理念に基づき、環境上の理由及び経済的理由により居宅養護の困難な者を養護老人ホームへ入所させ養護する必要性が生じたもの。

事業概要

養護老人ホームはなまき荘管理運営 116,303千円
 はなまき荘の指定管理業務委託
 高齢者短期入所 444千円
 急迫的に保護を必要とする高齢者の短期入所業務委託
 老人保護措置費 52,024千円
 養護者不在等在宅生活が困難となった高齢者を施設で養護するための扶助費

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1

【高齢者保護措置事業】168,771千円
 花巻市養護老人ホームはなまき荘管理運営
 養護老人ホーム入所判定委員会の運営、はなまき荘の指定管理業務委託
 8節 謝礼：40千円
 老人ホーム入所判定委員 4,000円×2人×4回
 指定管理者候補者選定委員 4,000×2人
 12節 手数料：5千円
 入所者負担金口座振替手数料 226件×10円×1.08(4月~9月)
 239件×10円×1.1(10月~3月)
 13節 委託料：116,258千円
 はなまき荘指定管理業務委託料
 高齢者短期入所
 高齢者の緊急入所先として養護老人ホームに短期入所委託
 委託先 社会福祉法人 大谷会(はなまき荘)
 社会福祉法人 宝寿会(宝寿荘)
 13節 委託料：444千円
 2,400円×185日(利用者3人)
 老人保護措置
 養護老人ホームに入所措置している対象者に対する生活費、事務費の支弁
 宝寿荘 26人(R2.3.31末)
 松寿荘(雫石町) 2人(R2.3.31末)
 寿水荘(奥州市) 1人(R2.3.31末)
 20節 老人保護措置費：52,024千円

平成31年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	03	01	02	134160	介護人材確保事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		0	0		0
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	0	0		0

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいを持ち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

介護を必要とする高齢者が増加することが予測される一方で、介護サービス事業所では人材不足が課題となっており、介護人材を安定的に確保する必要がある。

事業概要

介護人材確保事業補助金 432千円

市の奨学生であった人で、奨学金の返還期限を5年以上としている人が、新卒で市内の宿泊を伴う介護サービス事業所又は養護老人ホームに就職し、介護福祉士等の資格に基づく業務に5年以上継続して従事する場合には、奨学金返還額の一部を補助する。

担当部署	17200000 健康福祉部 長寿福祉	担当課長	佐藤 拓史
------	---------------------	------	-------

意見・要望等の状況

介護保険運営協議会では事業所における介護職員が不足しているとの声が挙げられており、人材確保対策が必要との意見が出されている。

事業手法の詳細 1

- 介護人材確保奨学金返還支援 0千円
資格を取得するため、学校等で修学する際に市の奨学金を借り入れ、新たに市内の介護サービス事業所へ就職しようとする方の奨学金返還を支援することで、介護サービス事業所で働く人材の確保と定着を図る。
・対象者...市内の介護サービス事業所(入所施設等)又は養護老人ホームで働く職員で、5年以上継続して勤務する予定の人
特別養護老人ホーム、老人保健施設、認知症高齢者グループホーム、小規模多機能型居宅介護、短期入所、特定施設入居者生活介護
・対象資格...介護福祉士、保健師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
・補助対象...介護サービス事業所等に勤務している期間における市の奨学金の返還金に対し、最大60か月、貸付額の1/2を限度として補助する。

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
介護保険	03	02	01	434300	地域介護予防活動支援事業

単位：千円

		30年度 決算額 (A)	31年度 決算額 (B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		4,074	2,988		△ 1,086
財 源 内 訳	国・県	2,424	1,778		△ 646
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,650	1,210		△ 440

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国20.0%、県12.5%、支払基金28.0%）平成29年度まで
 地域支援事業交付金（国20.0%、県12.5%、支払基金27.0%）平成30年度から

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

高齢化が進むなか、住み慣れた地域でできる限り自立した生活を送るため、介護予防と日常生活支援に地域で取り組むよう介護保険制度が改正された。

事業概要

○地域介護予防活動支援事業

市内全域に高齢者が容易に通える範囲に通いの場を展開し、住民主体で体操などを行いながら生活機能の向上や介護予防につなげる取り組みを支援する。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤 拓史

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○事業目的

介護予防に資する地域での取り組み支援や、介護予防に関する知識向上、意識啓発を図る

○事業内容

市内全域に高齢者が容易に通える範囲に通いの場を展開し、住民主体で体操などを行いながら生活機能の向上や介護予防につなげる取り組みを支援する。

《導入支援》3回まで専門スタッフによる体操指導、住民主体での実施方法の検討、健康チェックの方法の指導を行う。

《継続支援》

・立ち上げから1年半までの団体

①開始から6か月ごとの体力測定

②いきいき講座（3回）：認知症予防、低栄養改善、口腔機能向上

・立ち上げから2年目以降の団体

①年1回の体力測定

②年1回のいきいき講座（内容選択制）

○実績

	H26	H27	H28	H29	H30	H31
通いの場取り組み団体数	3	51	81	96	103	108
導入支援	実施団体数(実)	3	46	33	15	8
	実施回数(延)	9	126	99	45	21
継続支援	実施団体数(実)		44	71	91	103
	実施回数(延)		73	279	342	355

○事業決算額 2,998千円

7節 賃金	1,846	臨時補助、作業員賃金
11節 需用費	575	研修会および講演会資料等消耗品費
12節 役務費	20	郵送料
14節 使用料	307	自動車借り上げ料
18節 備品購入費	250	
2,998		

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
介護保険	03	03	03	434350	在宅医療介護連携推進事業

単位：千円

		30年度 決算額(A)	31年度 決算額(B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		8,244	7,311		△ 933
財 源 内 訳	国・県	4,823	4,277		△ 546
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,421	3,034		△ 387

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国38.5%、県19.25%）

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が元気で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅高齢者に対する医療と介護の切れ目のない円滑なサービス提供体制が重要であり、医療・介護関係者の多職種による連携体制の構築が求められている。

事業概要

○在宅医療介護連携推進事業 7,311千円

医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療及び介護を一体的に提供するため、在宅における医療を提供する医療機関、介護サービス事業者その他の関係者の連携を推進することを目的とした業務を行う。

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤 拓史

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

○事業の目的

医療と介護の両方を必要とする高齢者に対し、在宅医療及び介護を一体的に提供するため、在宅における医療を提供する医療機関、介護サービス事業者その他の関係者の連携を推進することを目的とする。

○事業内容

(1) 在宅医療介護連携推進コーディネーターの配置

医療、介護、福祉等の関係機関との連携調整を行う専任職員（在宅医療介護連携コーディネーター）を配置し、在宅医療介護連携推進事業を実施する。

(2) 在宅医療介護連携推進のための関係者会議

在宅医療と介護サービスを包括的かつ継続的に提供する体制構築に係る課題を共有・分析し、解決するための方策に係る事項を協議し、関係団体の自主活動を推進する。

①開催回数：8回

②構成団体：医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、歯科衛生士会、総合花巻病院、花巻地区看護管理者会、介護支援専門員連絡協議会、ケアサービス事業所連絡協議会、県訪問看護ステーション連絡協議会、岩手中部地域リハビリテーション広域支援センター、地域包括支援センター、市の実務者

(3) 在宅生活を支える多職種が集う会

医療と介護の連携機能の高度化や関係者のスキルアップを図るため、関係者間で情報交換や知識の共有を図りながら、地域の課題を解決していくための手法を検討する。

①対象者：医療介護関係者

②実施状況：

年 度	27	28	29	30	31
実施回数(回)	1	2	2	3	3
参加者数(人)	96	199	244	417	266

(4) 講演会

市民や地域の関係者が在宅医療と介護に関する現状や必要性を理解し、今後の在り方などに関心を深めるとともに、人生の最期の過ごし方について考える機会をする。

①対象者：一般市民、医療介護関係者

②実施状況：

年 度	27	28	29	30	31
実施回数(回)	1	1	1	1	1
参加者数(人)	192	550	330	620	700

○事業決算額・・・7,311千円

1節 報酬	1,461				
4節 共済費	220				
8節 報償費	525	講師謝礼（講演会講師1名、会議謝礼）			
9節 旅費	29	研修会旅費			
11節 需用費	490	研修会および講演会資料等消耗品費			
12節 役務費	82	郵送料			
13節 委託料	4,199	システム保守委託料			
14節 使用料	305	講演会会場使用料			

7,311

平成 31 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
介護	03	03	04	434400	生活支援体制整備事業

単位：千円

		30年度 (決算額A)	31年度 (決算額B)	次年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,930	3,751		△ 179
財 源 内 訳	国・県	2,299	2,194		△ 105
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,631	1,557		△ 74

※特定財源の内訳

地域支援事業交付金（国39.0%、県19.5%）

事業期間	単年度繰返	期間限定	〔平成 年度 ～ 平成 年度〕
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

高齢者が健康で生きがいをもち、安心した生活を送っています。

事業開始の背景・経緯

介護保険改正に伴い、要支援1、2の方の通所介護予防、訪問介護予防サービスが、介護保険給付から地域支援事業へ移行することから、地域における「生活支援」の提供体制の整備が求められている。

事業概要

- ①生活支援コーディネーターの設置
地域課題の把握や分析、解決方法の検討や、地域住民・関係機関との地域ネットワークの構築など
- ②生活支援ボランティア養成研修（委託事業…生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成）
- ③生活支援体制づくり補助事業（地域団体が生活支援の事業を行う場合の事業立ち上げに関する補助）

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 健康福祉部 課名 長寿福祉課 担当課長 佐藤 拓史

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

(1) 事業目的

高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、医療・介護サービスのみならず、多様な主体による多様な日常生活上の支援体制の充実、強化を図ることを目的とする。

(2) 事業概要

- ①生活支援コーディネーターの設置
地域課題の把握や分析、解決方法の検討や、地域住民・関係機関との地域ネットワークの構築 など
- ②生活支援ボランティア養成研修（委託事業…生活支援の担い手となる住民ボランティアの養成）
- ③生活支援体制づくり補助事業（地域団体が生活支援の事業を行う場合の事業立ち上げに関する補助）

(3) 利用状況・実績

花巻市ご近所サポーター事業の実施

	H29 生活支援提供件数	H30 生活支援提供件数	H31 生活支援提供件数
宮野目	5	52	53
笹間	15	-	-
八幡	66	91	111
八日市	-	-	-
亀ヶ森	18	-	-
高松	-	-	-
太田	-	-	45
湯本	-	-	12
ゆいっこ	106	150	41
計	210	293	262

(4) 事業決算額 3,751千円

(千円)

1節	1,839	非常勤生活支援コーディネーター報酬
4節	275	社会保険料等
9節	98	研修等旅費
11節	216	消耗品費、印刷製本費
12節	36	通信運搬費
13節	1,087	生活支援ボランティア養成研修事業委託
19節	200	生活支援体制づくり事業補助金
	3,751	